



メッセージの到着通知の管理

- [メッセージ通知について, 1 ページ](#)
- [デバイスへの通知のオンまたはオフ, 1 ページ](#)
- [通知先電話番号の変更, 2 ページ](#)

メッセージ通知について

Cisco Unity Connection は電話またはポケットベルを呼び出して、新しいメッセージの到着を通知できます。

通知のオンとオフを切り替えるだけでなく、自宅の電話、職場の電話、携帯電話、ポケットベルなどの通知先電話番号を変更することもできます。



(注) Messaging Assistant Web ツールを使用している場合は、さらに多くのオプションや通知デバイスを使用できます。 Messaging Assistant のヘルプを参照してください。

デバイスへの通知のオンまたはオフ

自宅の電話、職場の電話、携帯電話、ポケットベルに対する通知のオンとオフを切り替えることができます。通知デバイスをオフにしても、その設定は削除されません。

電話のキーパッドを使用したデバイスへの通知のオンまたはオフ

手順

-
- ステップ 1 コールをして Connection にログインします。
 - ステップ 2 メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[メッセージ設定 (Message Settings)]、[メッセージの通知 (Message Notification)] の順に選択します。
 - ステップ 3 Connection で現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話への通知をオンまたはオフにします。
-

ボイス コマンドを使用したデバイスへの通知のオンまたはオフ

手順

-
- ステップ 1 コールをして Connection にログインします。
 - ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。
「Setup Options」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。
 - ステップ 3 電話のキーパッドで、[メッセージ設定 (Message Settings)]、[メッセージ通知 (Message Notification)] オプションの順に選択します。
 - ステップ 4 Connection で現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話への通知をオンまたはオフにします。
ヒント インプットスタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで * を押し続けます。
-

通知先電話番号の変更

自宅の電話、職場の電話、携帯電話、およびポケットベルの通知先番号を変更できます。

社内の電話番号の場合は、内線を入力します。外線電話番号の場合は、外線通話に必要なアクセスコード (たとえば 9) から入力を始めます。必要に応じて、# キーを使用して、1 秒間のポーズを追加します。

電話のキーパッドを使用した通知先電話番号の変更

手順

-
- ステップ 1** コールをして Connection にログインします。
 - ステップ 2** メインメニューで、[設定オプション (Setup Options)]、[メッセージ設定 (Message Settings)]、[メッセージの通知 (Message Notification)] の順に選択します。
 - ステップ 3** Connection で現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話の通知先電話番号を変更します。
-

ボイス コマンドを使用した通知先電話番号の変更

手順

-
- ステップ 1** コールをして Connection にログインします。
 - ステップ 2** Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。
「Setup Options」 (Connection が一時的に電話のキーパッドに切り替わります)。
 - ステップ 3** 電話のキーパッドで、[メッセージ設定 (Message Settings)]、[メッセージ通知 (Message Notification)] オプションの順に選択します。
 - ステップ 4** Connection で現在の通知の状態がアナウンスされた後、指示に従ってポケットベル、自宅の電話、職場の電話、または携帯電話の通知先電話番号を変更します。
ヒント インプットスタイルをボイス コマンドに戻すには、「Voice Command Conversation」というプロンプトが聞こえるまで*を押し続けます。
-

